

あけぼの愛育保育園

新型コロナウイルス感染への方針第2弾(2020, 3, 19 現在)

【原則として開所をつづけます】

* 国・厚労省・市などの方針に則った上で、園として最善の状況判断をいたします。

* 家庭で保育可能であれば、できるだけ家庭での保育をお願いします。

※4月(新年度)になりましたら、感染の状況や国の方針などを参照して、あらためて通知します。

しかし、入園式(入園説明会)に関しましては、園児一人につきご家族一名の参加といたします。

* 園での保育がご心配な場合も、家庭で保育して下さい。

* 園が感染拡大の拠点にならないように努めます。

【感染予防を徹底します。】

園に入る際には、子ども・保護者・職員・納入業者など、すべて手指の消毒をしていただいています。

業者を含め、来園者には玄関での検温を実施、記録しています。

園児は登園前(職員は出勤前)に体温や健康状態をチェックしてもらいます。

咳や発熱(37.5度以上)がある場合は、園への立ち入りを禁止します。

保護者の方々も最大限にご協力下さい。

しかし、不可抗力によって感染源(クラスター／小規模な感染集団)になることもあり得ます。

- ・ もし園児が感染した場合(検査で陽性あるいは明らかな症状)

濃厚接触をしたと考えられる児童・職員には自宅待機を要請します。
感染した園児が使用した部屋や玩具などは消毒処理をし、一定期間使用禁止にします。

- ・ もし職員が感染した場合(検査で陽性あるいは明らかな症状)

保育業務の規模を縮小する場合があります。保育は医療関係者の子どもを優先し、その他の方には家庭での保育をお願いする場合があります。

給食調理が不可能になった場合は、昼食は家庭からのお弁当になる場合があります。

- ・ 感染源(クラスター／小規模な感染集団)になる恐れが出たらただちに休園となります(おおむね2週間程度)

* 休園期間中は、早期再開にむけて努力します。

施設の消毒

園児および家族の健康状況把握

職員および家族の健康状況把握

周辺地域の感染状況把握

- ・ 園医や各種専門機関と、より綿密な連携体制をとります。・社会福祉施設としての役割を果たしますが、原則として医療・福祉関係者を最大限優先して支援します。

以上